

大豆作における帰化アサガオ類に有効な土壌処理型除草剤

宮城県古川農業試験場

1 取り上げた理由

近年宮城県において、難防除雑草である帰化アサガオ類(ヒルガオ科)の大豆ほ場への侵入が拡大しており、その対策が急務である。一部ではほ場内に蔓延し、防除や収穫時の作業機械につるが絡まり作業に重大な障害が出ている事例や減収事例もあるが、本県においては防除技術が確立されていない。そこで、帰化アサガオ類に対する土壌処理型除草剤の効果について検討したところ、フルミオキサジン水和剤は高い抑草効果を示したので普及情報とする。

2 普及情報

- 1) 大豆ほ場の帰化アサガオ類に対して効果の高い土壌処理型除草剤は、フルミオWDG(一般名：フルミオキサジン水和剤)である(図1)。
 - a 薬剤名 フルミオキサジン水和剤(商品名：フルミオWDG)
 - b 有効成分、物理化学的性状
 - a) 有効成分：フルミオキサジン 50%
 - b) 性状：淡褐色水和性細粒
 - c) 毒性：普通物
 - c 主な適用作物と対象雑草
だいず：一年生広葉雑草
 - d 使用方法
 - a) 使用時期：播種後出芽前(雑草発生前)
 - b) 使用回数：1回
 - c) 使用量：薬量5～10g／散布水量100L／10a
 - d) 使用方法：全面土壌散布

3 利活用の留意点

- 1) 県内でこれまでに発生が確認されている帰化アサガオ類は、アメリカアサガオ、マルバアメリカアサガオ、マルバアサガオ、ホシアサガオ、マメアサガオの5種類である(図2)。図1で示したデータは、アメリカアサガオ、マルバアメリカアサガオにおいて得られたものである。
- 2) フルミオキサジン水和剤の散布にあたっては、土壌表面の碎土率を高め、適度に土壌が湿っている条件で処理すると効果的である。
- 3) フルミオWDGを使用後、散布器のタンクやホース、ノズルに残った薬液は微量でも他作物に影響を与える可能性があるため、専用の洗浄剤(「フルミオWDG®洗浄剤」)を使用する。
- 4) 本データは、茎葉処理型除草剤、中耕除草等との体系防除の参考とする。
- 5) 帰化アサガオ類の防除法については、(独)農研機構 中央農研センターより「帰化アサガオ類まん延防止技術マニュアル」(2012年)が発行されている。

(問い合わせ先：宮城県古川農業試験場水田利用部 電話0229-26-5106)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

大規模水田農業地帯における総合的雑草管理システムの構築
各難防除雑草種に対する有効な防除技術の開発 (平成 24～26 年度)

2) 参考データ

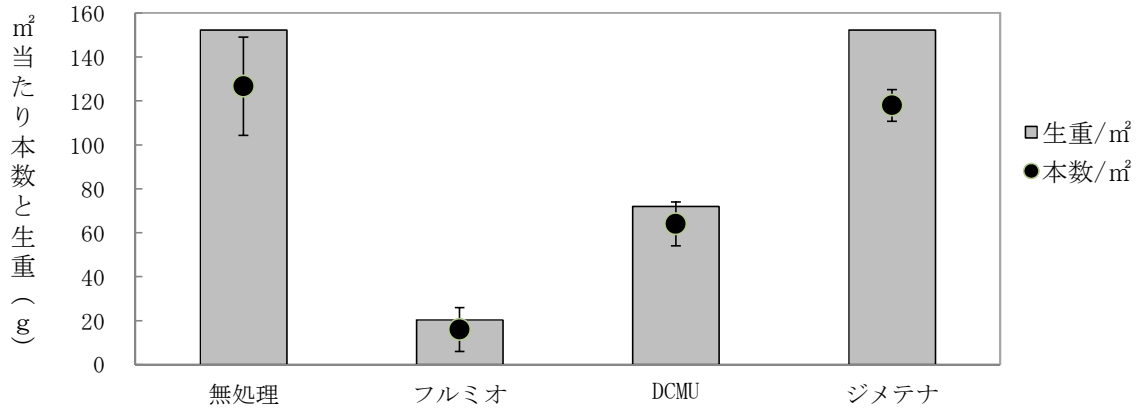


図1 帰化アサガオ類に対する各種土壌処理剤の効果 (H25)

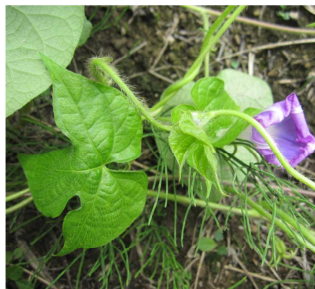
注1) フルミオ：フルミオキサジン水和剤 (商品名：フルミオWDG) 10g/10a

ジメテナ：ジメテナミド・リニュロン乳剤 (商品名：エコトップ乳剤) 500ml/10a

DCMU：DCMU水和剤 (商品名：ダイロンゾル) 200ml/10a

注2) アメリカアサガオ，マルバアメリカアサガオ多発ほ場 (K市) において，6月24日 (播種3日後) に散布し，その27日後に調査した。調査面積は兩年とも0.5m²/区，3反復。

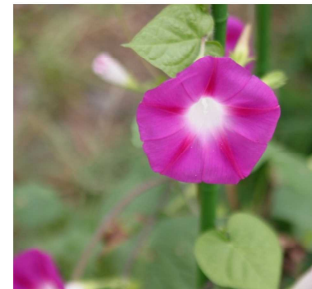
注3) 図中のエラーバーは標準誤差を示す (n = 3)。



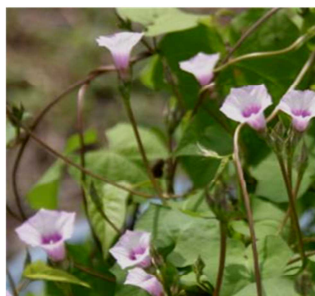
A アメリカアサガオ



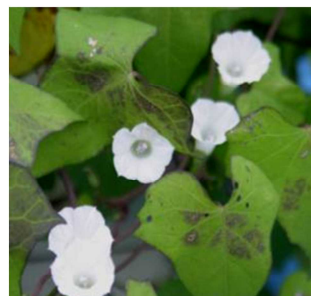
B マルバアメリカアサガオ



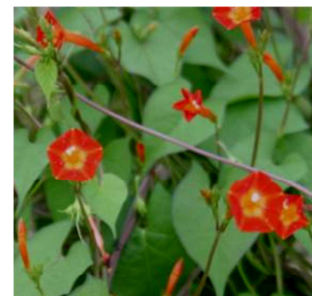
C マルバアサガオ



D ホシアサガオ



E マメアサガオ



F マルバルコウ (本県では未確認)

図2 帰化アサガオ類

注) 写真B～Fは(独)農研機構 中央農研センター「帰化アサガオ類まん延防止技術マニュアル」より引用。

3) 発表論文等

a 関連する普及に移す技術等 なし

4) 共同研究機関 なし